平成 28 年 2 月 23 日

保護者各位

横須賀市立馬堀小学校
校長　木屋 哲人

平成 27 年度　学校評価の結果と考察、課題について

車窓から梅の花が咲いているのが見えます。春一番が吹き、季節がそろそろ春に近づいてきているのを感じるこの頃ですが、保護者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、馬堀小学校では、昨年 12 月に実施した平成 27 年度の学校評価アンケートを集約し、それに対して本校の「教育課程」「児童支援」「学校管理」の各グループが検討を重ね、考察と課題を明らかにしました。

Ⅰ　教育課程グループの検討結果について

１　児童アンケートの結果から

①項目２「学校のめあて」を知っている

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	８２％	１７％
２０１４年度	７５％	２６％

（考察）児童への周知は増加している。学校各所での掲示や朝会での唱和等によるものと思われる。今後は、これを１００％に近づける努力を続けていく必要がある。

②項目３「先生の教え方はわかりやすい」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	８９％	１０％
２０１４年度	８８％	１２％

（考察）若干の上昇が見込まれる。研究での成果や授業力向上、放課後サポートによる成果があると思われる。今後も続けていく。

③項目４「学校の勉強が好きだ」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	８１％	１８％
２０１４年度	８４％	１７％

（考察）若干の下降がある。研究での授業力向上、放課後サポートによる支援を今後も続けていく。

④項目５「友だちと話し合って学習をすることが好きだ」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	８６％	１３％
２０１４年度	８４％	１６％

（考察）若干の上昇が見込まれる。研究での成果や授業力向上、放課後サポートによる成果があると思われる。今後も続けていく。

２　保護者アンケートの結果から

①項目４「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	８９％	１１％
２０１４年度	８３％	１７％

（考察）５ポイント以上の上昇が見込まれる。研究での成果や授業力向上、放課後サポートによる成果が児童にはあり、家庭で理解されてきていると思われる。今後も続けていく。

②項目５「学習の内容や進度が学年だより・学級だよりや学年懇談会等によって知ることができる。」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	９５％	５％
２０１４年度	９２％	８％

（考察）若干の上昇がある。昨年度の反省を生かし、保護者への周知に努力している成果であろう。

③項目６「通信簿は、子どもの学力や学習の状況がわかるように記入されている。」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	８５％	１４％
２０１４年度	８７％	１２％

（考察）昨年度と変わりはないはずだが、若干の減少が見られる。通信簿の内容を含め、個人面談などでよりわかりやすい説明を続けていく。

④項目１０「授業参観・学校公開に、保護者が参加しやすくなっている。」

	肯定的（１，２を選択）	否定的（３，４を選択）
２０１５年度	９３％	７％
２０１４年度	９２％	８％

（考察）昨年度とほぼ変わりが無い。９０％以上の保護者が肯定的なので、現在の形でよいと思われる。

Ⅱ　児童支援グループの検討結果について

１　児童アンケートの結果から

①　項目６　「友達のことで困っていることがある。」

下学年	ある４３％	ない５７％
上学年	ある２８％	ない７１％

（考察）下学年の方が子ども同士での解決が難しいためか困り感が大きい。きめ細かい指導が必要である。

②　項目７　「自分のことで困っていることがある。」

下学年	ある３７	ない６３％
上学年	ある１７	ない８３％

（考察）上学年は自力解決する力、コミュニケーションの力があるためだろうか困り感が少ない。

２　保護者アンケートの結果から

保護者アンケートの結果に関しては、上学年、下学年に大きな差はない。また、前年度の比較においての差もほとんどなかった。

Ⅲ　学校管理グループの検討の結果について

１　教職員アンケートの結果から

①　項目１　「学校は教育方針を分かりやすく伝えている。」

	肯定的（A、B）を選択	否定的（C、D）を選択
２０１５年度	９４％	６％
２０１４年度	９４％	６％

A評価のみを選択すると　今年度　５９％　　前年度　７７％である。

②　項目６　「学校は、学校の活動や児童の様子をわかりやすく伝えている。」

	肯定的（A、B）を選択	否定的（C、D）を選択
２０１５年度	１００％	０％
２０１４年度	１００％	０％

A評価のみを選択すると　今年度　４７％　　前年度　７２％である。

（考察）アンケート項目１、６の結果は、前年度比較しても肯定的、否定的とも前年度と同じであるが、A評価の割合が前年度より低くなっている。

２　保護者アンケートの結果から

①　項目１「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」

	肯定的（１、２）を選択	否定的（３、４）を選択
２０１５年度	８５％	１４％
２０１４年度	９３％	７％

「１そう思う」を選択すると　今年度３３％　　前年度４０％

（考察）前年度に比較すると、肯定的ととらえる割合が減っている。否定的にとらえる割合が増えた。

上記の１、２の結果を踏まえ、学校は教育方針や児童の様子について、わかりやすく伝えていくために、情報の収集と発信を行い、教職員で共有していくことが必要であると考える。

具体的な方策として

①学校便り、学級・学年便りなどでは保護者目線に沿って「丁寧で分かりやすく」を追求し、学校の教育方針や児童の様子を保護者や地域に知らせていく。

②ＰＴＡ運営委員会、学校づくり協議会、学校評議員会などにおいて、学校の教育方針や児童の様子をわかりやすく伝えていくとともに、各種の会合において知り得た情報を教職員で共有していく。

③学校ホームページを適宜更新し、教育方針や学校・児童の様子を情報発信していく。

④地域の会合等に参加した折に、学校や児童の様子、学校行事などを伝えていくとともに児童の様子などの情報を収集し、教職員で共有する。